

鶴見警察署前の交差点で実地試験中だ



視覚障害者や高齢者らが安全に横断歩道を渡れるよう工夫した音響装置を、篠原電機株式会社（大阪市）が開発、設置を目指している。

これまで信号機と同調する音響装置は設置されているが、近隣への騒音の配慮から、早朝や夜間に誘導する音が止められているケースがあった。

同社が開発した装置はLEDを採用、視認性が高く、目の不自由な高齢者や視覚障害者が、青や赤の信号を判別しやすいよう

目の不自由な人に優しい信号音響装置開発

篠原電機

にした。

大学や盲学校の協力で視認性試験をしたところ、歩行時の安全性が向上したと感じた人がほぼ9割を占めた。

同社はこうした実地試験結果をもとに、警察に対して設置を要請、現在、大阪市内の鶴見警察署前の交差点で、実地試験を行っている。警察庁が設置について検討している。

これまで3年にわたって実地試験を行っているが、視覚障害者や高齢者におおむね好評という。中には「子どもの目線に表示があるので安全だ」というお母さんの感想もあった。

同社はさらに、横断歩道で音によって歩行者を誘導する「超音波パラメトリックスピーカー」の販売も手がけている。

音が届く範囲の角度が20度で、横断歩道の手前の点字ブロックから、道路に出る際に、横断歩道上の安全な範囲を音で誘導する。音域が絞られているため、周辺住民への騒音も軽減できるという。

生活者優先
時代を
リードする

日本消費経済新聞

週刊

発行者
日本消費経済新聞社
〒100 東京都千代田区千代田 1-1-1
編集・印刷部
〒100 東京都千代田区千代田 1-1-1
電話 03-5561-1111
大阪支社
〒540 大阪市東淀川区西中島 2-1-1
電話 06-7081-1111
東京支社
〒100 東京都千代田区千代田 1-1-1
電話 03-5561-1111

定価
1冊 200円
3ヶ月 500円
6ヶ月 900円
1年 1600円
広告料
1日 1000円
1週間 5000円
1ヶ月 10000円
1年 100000円

3月16日発行